

11月8日(日)

新しいイベントを満喫 「写真でウォークラリー大会」

芝山公園において開催された「第1回写真でウォークラリー大会」。町内在学の小学生やその保護者など約60人が参加し、マップに記された写真の場所を探しながら全部で6つのチェックポイントに用意された各ゲームの合計得点を競いました。参加した子どもたちは、久しぶりのイベントに心を躍らせチームでゲームをクリアする喜びを実感するなど、有意義で楽しい1日を過ごしました。

今大会を主催した芝山応援隊の石田代表は「コロナ禍の影響でイベントや行事が中止・縮小となり、子どもたちに少しでも思い出を作ってほしいという気持ちで企画を考えました。開催に至るまで本当にたくさんの方が集まり協力してくれました。みんなの力で当日を無事に終えることができ、また、子どもたちの笑顔を見ることができて達成感と充実感でいっぱいです」と話されていました。



- ①最初のチェックポイントはどこかな？
- ②歩くの楽しいな！
- ③輪投げに挑戦
- ④見事最高得点で優勝



このコーナーでは、町で行われたイベントなどを紹介します。



11月2日(月)・4日(水)・6日(金)

最後に最高の思い出を 「小学校部活動引退試合」



- ①お見事、ピタリと決まった最後の着地 (11月2日、体操部)
- ②チームワークを大切に粘るこの一本 (同6日、ソフトバレー部女子)
- ③渾身のスパイクで導くチームの勝利 (同4日、ソフトバレー部男子)

芝山小学校において行われた「体操部引退発表会とソフトバレー部引退試合」。体操部引退発表会では、先生や他の6年生が観戦する中、練習で磨き上げてきたマット、鉄棒、跳び箱の3種目の演技を次々と披露しました。体育館に独特の緊張感が漂う中、観戦している児童たちも固唾をのみながら演技者の一挙手一投足の動作を見届けました。

ソフトバレー部は男女別日程で試合が行われ、先生たちが相手チームとなり対戦しました。児童たちが繰り出す強烈なサーブには先生たちも思わず驚いた様子で、ナイスサーブ!とその凄さに感心していました。また、次第に先生にも熱が入ってくると、お互いに粘りあるラリーの応酬が続く白熱した試合展開となりました。

発表会と試合が終わった後は、両部活とも今までチームで懸命に取り組んできた想いや、部活動を通して感じたこと、学んだことなどを先生に感謝の気持ちを込めて伝えました。

11月7日(土)・8日(日)

奄美の魅力を紹介 「奄美群島フェア」

航空科学博物館において開催された「奄美群島フェア」。このイベントは2014年に当時のバニラエアが成田・奄美間の路線を開設したことにより開始された芝山町と奄美市との交流事業が5周年目を迎えるにあたり、双方向の観光交流の拡大とピーチアビエーションの利用促進による往来者増進を目的として2日間にわたって開催され、1,525人もの来場者が訪れました。

初日のステージイベントでは、奄美出身の唄者^{さと}里歩^{ありす}さんによるしま唄ライブや大島紬アンバサダーによるファッションショー、芝山町と奄美市の地元PRが行われたほか、奄美群島の代表的な食品や黒糖焼酎、芝山町の新鮮な地元野菜などの物産販売が行われました。来場者からは「なかなか旅行に行きづらい中で南国気分を味わえて嬉しい」といった声が上がって大盛況のイベントとなりました。



- ① 艶やかな大島紬の着物をまとう出演者たち
- ② 多くの人でにぎわった物産販売
- ③ 芝山中学校の写生会で描かれた作品が飾られました
- ④ 見事な歌声と演奏に会場が包まれました

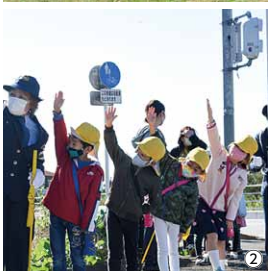
しまやま 日 び より 和

11月6日(金)・10日(火)・16日(月)

安全に道路を渡る練習 「保育所べこちゃんクラブ」

町内の保育所において毎月行われている「べこちゃんクラブ」。今回は、実際の道路を安全に渡る練習をしました。まず初めに、幼児交通安全指導員の方や警察の方からの説明を聞き、続けて今までに勉強した道路の渡り方などを園内で復習しました。道路に出ると少し緊張した様子の子どもたちでしたが、練習した通りに手を上にまっすぐ挙げ「右、左、右」と声に出しながら周囲の安全を確認し、上手に道路を渡ることができました。

来年の4月から小学生となる子どもたち。「学校に行くときもきちんと手を挙げて安全に道路を渡れますか」という問いかけに、全員が元気いっぱいの返事をしていました。



- ① 1列になって安全に歩きました (11月6日、第二保育所)
- ② 渡る前に前後左右をしっかり確認 (同10日、第一保育所)
- ③ 真剣な表情で説明を聞く子どもたち (同16日、第三保育所)